

# MARUYAMA REPORT 2014

## 第79期 中間報告書

2013.10.1 ▶ 2014.3.31

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援およびご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2014年9月期第2四半期の決算を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申し上げます。

2014年6月



代表取締役社長  
尾頭正伸

▶ 決算ハイライト

<p>■ 売上高</p> <p>前年同四半期比</p> <p><b>17,113</b>百万円  30.9%増</p>	<p>■ 営業利益</p> <p>前年同四半期比</p> <p><b>1,254</b>百万円  818.1%増</p>
<p>■ 経常利益</p> <p>前年同四半期比</p> <p><b>1,081</b>百万円  541.8%増</p>	<p>■ 四半期純利益</p> <p>前年同四半期比</p> <p><b>582</b>百万円  —</p>

(注) 2014年9月期第2四半期の四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

CONTENTS

株主の皆様へ……………P1	株式情報……………P8
連結セグメント別の概況……………P3	会社情報……………P9
連結財務諸表……………P5	株主メモ……………P10
トピックス……………P7	

▶ 2014年第2四半期連結累計期間における事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策の効果が下支えとなる中、消費税率引上げに伴う駆け込み需要もあり、個人消費や生産は増加し、企業収益、雇用情勢にも明るさがみえてきました。一方、海外経済も、アジアでは中国の景気が緩やかに拡大しており、安定した成長を続けております。また、米国経済も底堅く推移し、欧州におきましても持ち直しの兆しがみられました。

このような状況のもと、当社グループは、前期に発売を開始したキャビン付ハイクリブームなどを中心に積極的な営業活動を展開するとともに、新たな海外販路の拡大を進めてまいりました。

これらの結果、国内では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響もありましたが、好評をいただいておりますハイクリブームを中心に大型製品が増加したことなどにより、国内売上高は13,661百万円(前年同四半期比29.7%増)となりました。一方、海外では、海外経済の持ち直しや円安効果もあり、北米、欧州、アジア向けが増加したことなどにより海外売上高は3,451百万円(前年同四半期比35.7%増)となり、当第2四半期連結累計期間の売上高合計は17,113百万円(前年同四半期比30.9%増)となりました。

利益面では、売上高の増加に伴う物流費や販売費の増加はありましたが、生産性の向上により売上総利益率が改善したことなどにより、営業利益は1,254百万円(前年同四半期比818.1%増)、経常利益は1,081百万円(前年同四半期比541.8%増)、四半期純利益は582百万円(前年同四半期は34百万円の利益)となりました。

▶ 2014年9月期の見通しについて

通期につきましては、国内においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、海外では、米国の金融緩和の縮小など、当社グループを取り巻く環境は依然として大きく変動することが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、好評をいただいております大型製品を中心に積極的な営業活動を進めてまいります。また、海外におきましても、引き続き新規の販路開拓を進めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、5月14日に発表させていただきましたとおり、売上高36,000百万円(前期比9.5%増)、営業利益2,000百万円(前期比16.4%増)、経常利益1,700百万円(前期比13.7%増)、当期純利益950百万円(前期比13.6%増)を見込んでおります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり配当金 (円)
通期業績予想 (2014年9月期)	36,000	2,000	1,700	950	4

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

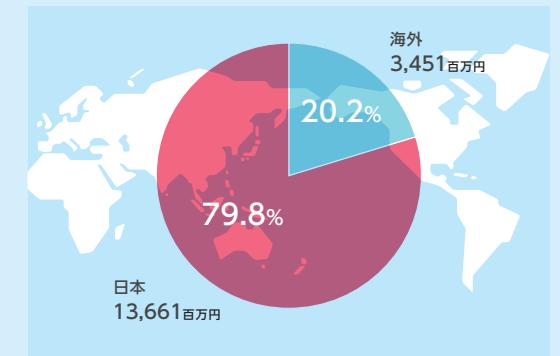
# 連結セグメント別の概況

	売上高構成比	売上高・営業利益の推移	取扱商品	業績の概要												
農林業用機械	<p>農林業用機械 72.5% 売上高 12,513百万円</p>	<p>売上高 (百万円)   営業利益 (百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr> <tr><td>2012/3</td><td>9,111</td><td>578</td></tr> <tr><td>2013/3</td><td>9,333</td><td>310</td></tr> <tr><td>2014/3</td><td>12,513</td><td>1,228</td></tr> </table>	年度	売上高	営業利益	2012/3	9,111	578	2013/3	9,333	310	2014/3	12,513	1,228	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴霧機</li> <li>散布機</li> <li>刈払機</li> <li>チェーンソー</li> <li>その他</li> </ul>	<p>売上高 (前年同四半期比) <b>34.1%増</b></p> <p>営業利益 (前年同四半期比) <b>295.2%増</b></p> <p>国内におきましては、大型製品を中心に積極的な営業活動を展開したことなどにより、高性能防除機が増加いたしました。一方、海外では、刈払機などの林業機械が増加した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は、12,513百万円(前年同四半期比34.1%増)、営業利益は1,228百万円(前年同四半期比295.2%増)となりました。</p>
年度	売上高	営業利益														
2012/3	9,111	578														
2013/3	9,333	310														
2014/3	12,513	1,228														
工業用機械	<p>工業用機械 15.0% 売上高 2,597百万円</p>	<p>売上高 (百万円)   営業利益 (百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr> <tr><td>2012/3</td><td>2,308</td><td>365</td></tr> <tr><td>2013/3</td><td>2,195</td><td>371</td></tr> <tr><td>2014/3</td><td>2,597</td><td>641</td></tr> </table>	年度	売上高	営業利益	2012/3	2,308	365	2013/3	2,195	371	2014/3	2,597	641	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業用高圧ポンプ</li> <li>高圧洗浄機</li> </ul>	<p>売上高 (前年同四半期比) <b>18.3%増</b></p> <p>営業利益 (前年同四半期比) <b>72.5%増</b></p> <p>国内におきましては、前年同四半期並みとなりました。一方、海外では、海外経済の持ち直しや円安効果もあり、北米、欧州向けの工業用ポンプが増加した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は2,597百万円(前年同四半期比18.3%増)、営業利益は641百万円(前年同四半期比72.5%増)となりました。</p>
年度	売上高	営業利益														
2012/3	2,308	365														
2013/3	2,195	371														
2014/3	2,597	641														
その他の機械	<p>その他の機械 11.0% 売上高 1,902百万円</p>	<p>売上高 (百万円)   営業利益 (百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr> <tr><td>2012/3</td><td>1,529</td><td>43</td></tr> <tr><td>2013/3</td><td>1,452</td><td>26</td></tr> <tr><td>2014/3</td><td>1,902</td><td>△43</td></tr> </table>	年度	売上高	営業利益	2012/3	1,529	43	2013/3	1,452	26	2014/3	1,902	△43	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火器</li> <li>防災関連機器</li> <li>環境衛生用機械</li> <li>その他</li> </ul>	<p>売上高 (前年同四半期比) <b>31.0%増</b></p> <p>営業損失 (前年同四半期比) <b>(前年同四半期は) 26百万円の利益</b></p> <p>消防機械を主なものとするその他の機械の売上高は1,902百万円(前年同四半期比31.0%増)、営業損失は43百万円(前年同四半期は26百万円の利益)となりました。</p>
年度	売上高	営業利益														
2012/3	1,529	43														
2013/3	1,452	26														
2014/3	1,902	△43														
不動産賃貸他	<p>不動産賃貸他 1.5% 売上高 257百万円</p>	<p>売上高 (百万円)   営業利益 (百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr> <tr><td>2012/3</td><td>229</td><td>120</td></tr> <tr><td>2013/3</td><td>250</td><td>123</td></tr> <tr><td>2014/3</td><td>257</td><td>127</td></tr> </table>	年度	売上高	営業利益	2012/3	229	120	2013/3	250	123	2014/3	257	127	<ul style="list-style-type: none"> <li>不動産賃貸</li> <li>売電事業</li> <li>その他</li> </ul>	<p>売上高 (前年同四半期比) <b>2.8%増</b></p> <p>営業利益 (前年同四半期比) <b>3.2%増</b></p> <p>不動産賃貸他の売上高は257百万円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益は127百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。 なお、不動産賃貸他では、当社で千葉工場の敷地内に「太陽光発電設備」を設置し、1月より「売電事業」を開始いたしました。</p>
年度	売上高	営業利益														
2012/3	229	120														
2013/3	250	123														
2014/3	257	127														

※セグメント別売上高は、セグメント間取引調整前の金額にて表示しております。

## 海外の売上高の状況

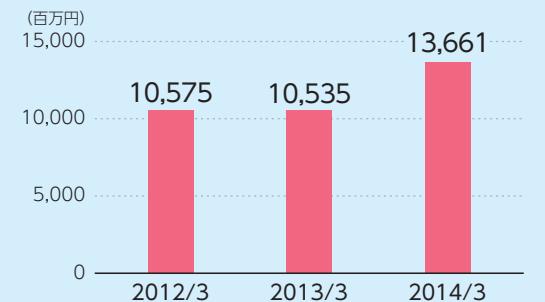
売上高の海外構成比



海外



日本



## ▶ 連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	前四半期 (2013年3月31日現在)	当四半期 (2014年3月31日現在)	前期 (2013年9月30日現在)
資産の部			
流動資産	20,116	23,684	22,568
固定資産	10,982	11,535	11,380
有形固定資産	7,583	8,014	7,855
無形固定資産	21	112	48
投資その他の資産	3,378	3,409	3,476
<b>資産合計</b>	<b>31,099</b>	<b>35,220</b>	<b>33,948</b>

Point  
①

### Point ① 資産合計

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は35,220百万円となり、前連結会計年度末より1,272百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少(899百万円)はありましたが、たな卸資産の増加(2,058百万円)などによるものであります。

### Point ② 負債合計

負債総額は21,182百万円となり、前連結会計年度末より960百万円増加いたしました。これは、短期借入金の減少(234百万円)、未払金の減少(178百万円)及び未払費用の減少(157百万円)はありましたが、支払手形及び買掛金の増加(800百万円)、長期借入金の増加(1,154百万円)などによるものであります。

### Point ③ 純資産合計

純資産の合計は14,038百万円となり、前連結会計年度末より311百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加(315百万円)などによるものであります。

Point  
②

Point  
③

(単位:百万円)

科目	前四半期 (2013年3月31日現在)	当四半期 (2014年3月31日現在)	前期 (2013年9月30日現在)
負債の部			
流動負債	11,704	13,284	13,426
固定負債	6,578	7,897	6,795
<b>負債合計</b>	<b>18,283</b>	<b>21,182</b>	<b>20,221</b>
純資産の部			
株主資本	12,327	13,368	13,129
資本金	4,651	4,651	4,651
資本剰余金	4,525	4,525	4,525
利益剰余金	3,303	4,420	4,105
自己株式	△151	△228	△152
その他の包括利益累計額	488	669	597
<b>純資産合計</b>	<b>12,815</b>	<b>14,038</b>	<b>13,726</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>31,099</b>	<b>35,220</b>	<b>33,948</b>

## ▶ 連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前四半期 (2012年10月1日～ 2013年3月31日)	当四半期 (2013年10月1日～ 2014年3月31日)	前期 (2012年10月1日～ 2013年9月30日)
売上高	13,078	17,113	32,873
売上原価	9,497	12,174	23,787
売上総利益	3,581	4,939	9,085
販売費及び一般管理費	3,444	3,684	7,367
営業利益	136	1,254	1,718
営業外収益	211	47	171
営業外費用	179	220	395
経常利益	168	1,081	1,494
特別利益	2	0	2
特別損失	2	6	62
税金等調整前 四半期(当期)純利益	168	1,074	1,434
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	34	582	836
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>34</b>	<b>582</b>	<b>836</b>

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前四半期 (2012年10月1日～ 2013年3月31日)	当四半期 (2013年10月1日～ 2014年3月31日)	前期 (2012年10月1日～ 2013年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,511	△550	2,577
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,020	△850	△1,259
財務活動による キャッシュ・フロー	△170	535	△391
現金及び現金同等物に 係る換算差額	65	16	66
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	385	△849	992
現金及び現金同等物の 期首残高	2,068	3,061	2,068
<b>現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高</b>	<b>2,454</b>	<b>2,212</b>	<b>3,061</b>

Point  
④

### Point ④ 現金及び現金同等物の四半期末残高

前年同四半期と比べ、投資活動は投資有価証券の取得による支出が減少したことにより、増加いたしました。また、財務活動に関しても、短期借入金の減少はありましたが、長期借入れによる収入が増えたため増加いたしました。しかしながら、営業活動では、税金等調整前四半期純利益は増加いたしました。たな卸資産の増加、法人税等の支払額の増加等により減少した結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度と比べ、849百万円減少いたしました。

## ▶ 連結業績の推移



プレ120周年記念キャンペーンを開催

当社は、来期創業120周年を迎えることとなりました。これもひとえに株主様をはじめ関係者の皆様のお陰であると感じております。

それを記念して、プレ120周年キャンペーンと題し、「丸山サングスキャンペーン」を展開しております。現在の対象機種は、エンジンタイプの高圧洗浄機MSW1211SとMSW1511S-2、ecoエンジンチェーンソーMCV3501となっております。長年のご愛顧に感謝し、洗浄機には記念ヤッケ、チェーンソーにはオリジナルチャップス（安全装具）をプレゼントしております。

今後なお一層、お客様に喜んでいただけるようなキャンペーンを展開してまいります。



MSW1211S

MCV3501

太陽光発電所  
「MARUYAMA 小沼田ソーラーパーク」を竣工

2014年2月4日に「MARUYAMA 小沼田ソーラーパーク」の竣工式が開催されました。当社初となる太陽光発電事業への参入となり、既に売電事業も開始しております。

当社千葉工場内の資産を有効活用し、屋根部分に太陽光パネルを設置し、屋内は製品保管倉庫として使用しております。発電量は、屋上352.80kw、地上129.36kwの計482.16kwとなっており、モジュール枚数は1,968枚となっております。

今後も丸山製作所は、自然環境にやさしい「再生可能エネルギー」の普及促進に努め、企業の社会的責任としての環境負荷低減などを通じて社会に貢献していくべく、活動を続けてまいります。



MARUYAMA 小沼田ソーラーパーク



製品倉庫内

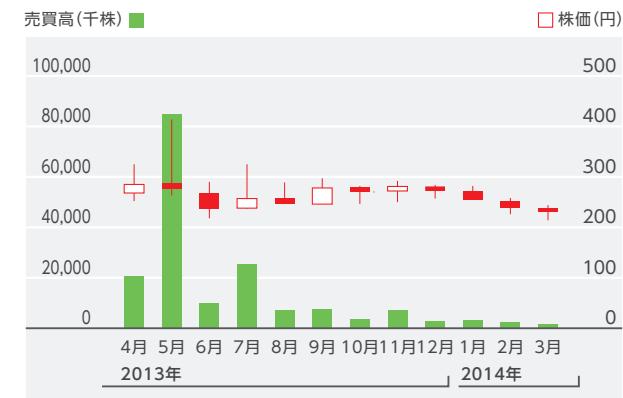
株式の状況

発行可能株式総数 139,061,000株  
発行済株式の総数 50,293,328株 (自己株式1,206,856株を含む)  
株主数 6,151名  
大株主(上位10名)

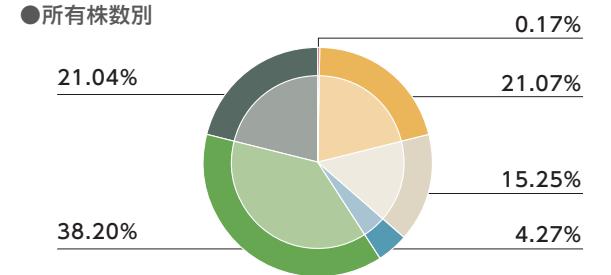
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	2,100	4.28
農林中央金庫	2,052	4.18
株式会社千葉興業銀行	1,625	3.31
みずほ信託銀行株式会社	1,400	2.85
クレディスイスグループ エイ&シー オンビハーフ オブ クライアーツ	1,240	2.53
丸山製作所取引先持株会	1,122	2.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,042	2.12
株式会社クボタ	954	1.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	842	1.72
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	767	1.56

(注)1. 持株比率は自己株式(1,206,856株)を控除して算出しております。  
2. 当社は、2011年8月9日開催の取締役会において、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議し、2011年9月2日から2011年9月7日にかけて資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式524,000株を取得しております。なお、2014年3月31日現在において信託E口が所有する当社株式521,000株を自己株式数に含めております。

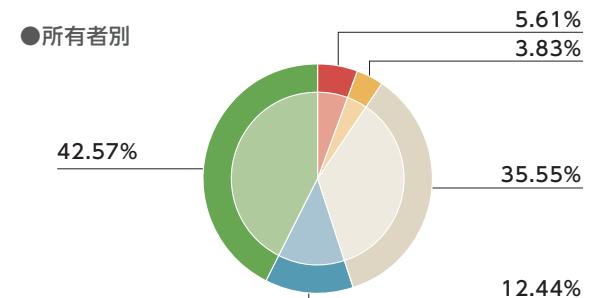
株価および株式売買高の推移



株式の分布状況



区分	株数	株数
1千株未満	583名	87,512株
1千株以上10千株未満	5,013名	10,596,167株
10千株以上50千株未満	467名	7,667,107株
50千株以上100千株未満	32名	2,144,870株
100千株以上1,000千株未満	49名	19,214,452株
1,000千株以上	7名	10,583,220株



区分	株数
外国法人等	2,821千株
証券会社	1,928千株
金融機関	17,881千株
その他国内法人	6,255千株
個人その他	21,408千株

▶ **会社の概要** (2014年3月31日現在)

商号	株式会社丸山製作所
英文名	MARUYAMA MFG. CO., INC.
設立	1937年11月1日
資本金	46億5,106万円
本社	東京都千代田区内神田三丁目4番15号
主な事業内容	農林業用機械（噴霧機、刈払機ほか）、工業用機械（高圧ポンプほか）、消防機械（消火器ほか）、環境衛生用機械ほかの製造並びに販売 不動産賃貸事業、売電事業
国内関係会社	日本クライス株式会社、マルヤマエクスセル株式会社、西部丸山株式会社、丸山物流株式会社
海外関係会社	マルヤマU.S., INC.、マルヤマ（タイ）CO., LTD.、丸山（上海）貿易有限公司、山東秋田丸山機械股分有限公司
従業員数	500名
グループ従業員数	892名
工場	千葉工場、東金第二工場
事業所	鏡野事業所、福島事業所
営業所	北海道、秋田、北東北、南東北、福島、新潟、甲信、茨城、北関東、千葉、静岡、名古屋、北陸、大阪、中国、四国、福岡、熊本、南九州

▶ **役員の状況** (2014年3月31日現在)

代表取締役会長	内山治男	
代表取締役社長	尾頭正伸	
専務取締役	鎌倉利博	管理本部長
常務取締役	杉本淳一	生産本部長兼千葉工場長
常務取締役	遠藤茂一	営業本部長
取締役	松田一郎	量産品事業部長
取締役	山田克彦	品質ものづくり統括部長
取締役	石村孝裕	営業推進統括部長
取締役	内山剛治	経営企画室長
取締役	小松豊	社外取締役
常任監査役（常勤）	砂山晃一	社外監査役
監査役（常勤）	三輪成祥	
監査役	土岐敦司	社外監査役
監査役	税所正明	社外監査役

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金受領株主確定日	9月30日
基準日	9月30日 その他必要ある場合は予め公告して設定いたします。
定時株主総会	12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先、郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 TEL 0120-288-324（フリーダイヤル）
未払配当金の受領	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告（当社ホームページhttp://www.maruyama.co.jp） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。

**お知らせ**

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。  
株主名簿管理人のみずほ信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 未払配当金の受領や支払明細発行、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され、その特別口座に記録されました株式に関する各種お手続きなどにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等（いわゆる「外字」）が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。  
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。  
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

**単元未満（1株から999株）株式をお持ちの株主様へ**

買取をご請求いただくことで、単元未満株式を売却することができます。詳細につきましては下記までお問い合わせください。

**■ お問い合わせ先**

- 証券会社などの口座に記録された株式  
口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式  
上記のみずほ信託銀行株式会社へ

**■ 買取制度の例（1,600株ご所有の場合）**





見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。